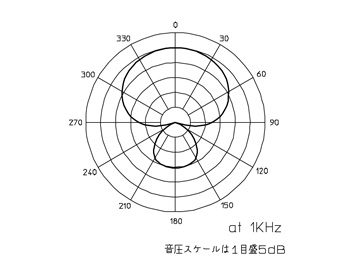
指向性について

指向性とは、マイクの向きによる感度のことです。この指向性は大まかに言って単一指向性(cardioid)、双指向性(figure-8)、無指向性(omnidirectional)の3パターンがあります。

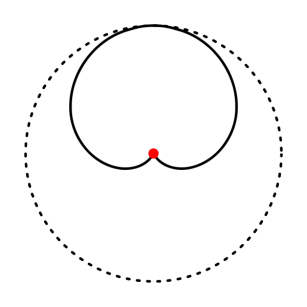
# 単一指向性

単一指向性は基本的にマイクの正面の音を一番収録し、背面の音はほとんど収録しない目的の楽器の音だけを収録する際には有利な指向性。他の楽器の音や部屋の反射音がマイクに入り込む(かぶりと呼ぶ)のをある程度防ぐことができる。

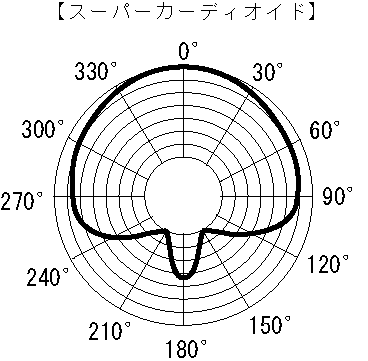
単一指向性には、特性をさらに鋭くしたスーパー・カーディオイド、それをさらに鋭くしたハイパー・カーディオイドがある



ハイパー・カーディオイド



カーディオイド



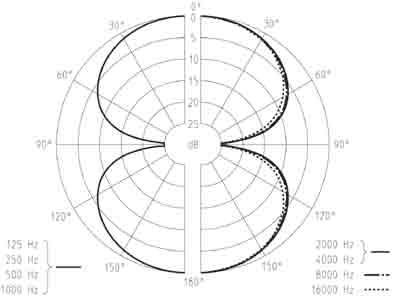
スーパー・カーディオイド

# 双指向性

両指向性とも呼ばれる。

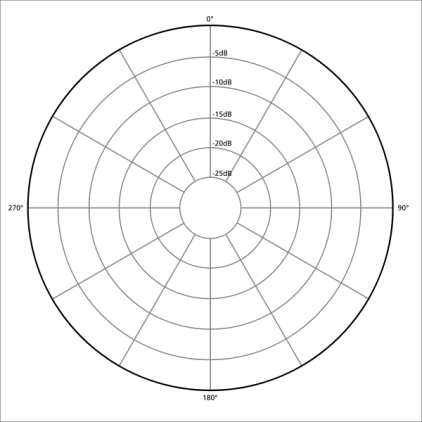
マイクの前面と背面が等しく感度が高いという指向性。一般的な使い方としては2人のコーラスがどうしても一緒に歌いたいといった場合などに、一本のマイクに立って歌ってもらうといったことが考えられる。

双指向性



# 無指向性

全方向に対して感度を持つ指向性。



無指向性

# 指向性と周波数特性

指向性を変えれば音質(周波数特性)も変わる

同じ周波数特性のまま、指向性が変化することはありえない

指向性を変化させるのは、ケーブル類は接続したままでOK(ファンタム電源が入っていてもOK)。変更時には衝撃があるので、ミュートをするのが基本！

## 接近効果

単一指向性のマイクの場合は、接近効果という現象が起きる場合が起きる。これはマイクと音源が近づくことで、低域が強調されるというものだ。

逆にあまり音源から離してしまっては低域が十分ではなくなるということ！